



令和6年5月14日

各 位

会 社 名 ジョルダン株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 俊和
(コード：3710、東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員経営企画室長 岩田 一輝
(TEL. 03-5369-4051)

**営業外収益（為替差益及び助成金収入）の計上、
第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、令和6年9月期第2四半期連結累計期間（令和5年10月1日～令和6年3月31日）において、営業外収益（為替差益及び助成金収入）を計上するとともに、令和5年11月9日の令和5年9月期決算発表時に公表いたしました令和6年9月期第2四半期連結累計期間（令和5年10月1日～令和6年3月31日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

また最近の業績の動向等を踏まえ、令和6年9月期通期（令和5年10月1日～令和6年9月30日）の業績予想を修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 営業外収益（為替差益及び助成金収入）の内容

当第2四半期連結会計期間（令和6年1月1日～令和6年3月31日）において、為替相場の変動により、営業外収益に為替差益 66,265 千円（第2四半期連結累計期間では 14,368 千円）を計上いたしました。これは主として、当社グループが保有する外貨建資産及び負債の四半期末為替レートによる評価により発生したものです。加えて、補助金の交付決定に伴い、営業外収益に助成金収入 57,983 千円を計上いたしました。これは、国土交通省共創モデル実証プロジェクトの採択を受けた熱海市での実証実験の実施により発生したものです。

2. 令和6年9月期第2四半期連結累計期間（令和5年10月1日～令和6年3月31日）の業績予想と実績との差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり連結四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	1,700	70	80	110	21.57
今回実績（B）	1,635	△52	29	1	0.24
増減額（B－A）	△64	△122	△50	△108	－
増減率（％）	△3.8	－	△63.4	△98.9	－
（参考）前第2四半期連結実績 （令和5年9月期第2四半期）	1,628	59	16	△237	△46.51

（注）1株当たり連結四半期純利益につきましては、第2四半期連結会計期間における自己株式取得に伴う期中平均株式数の変動を反映しております。

3. 第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異の理由

連結売上高につきましては、乗換案内事業及びハードウェア事業における売上高が当初の想定を下回ったこと等により、予想を下回りました。連結営業利益につきましては、乗換案内事業において、利益率の高い事業の売上高が想定を下回ったことや、外注費やハードウェア導入費用等の増加により売上原価が想定を上回ったこと、研究開発費等の増加により販売費及び一般管理費が想定を上回ったこと等の影響により、予想を大きく下回りました。連結経常利益につきましては、この影響の一方で、「1. 営業外収益（為替差益及び助成金収入）の内容」に記載のとおり為替差益及び助成金収入を計上したこと等により、差異はやや小幅に止まりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、当初想定していた子会社清算益の計上が第3四半期以降にずれ込むこととなったため、予想を大きく下回りました。

4. 令和6年9月期通期（令和5年10月1日～令和6年9月30日）の業績予想数値の修正

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,100	50	70	100	19.61
今回発表予想（B）	3,100	10	70	100	19.61
増減額（B－A）	0	△40	0	0	－
増減率（％）	0.0	△80.0	0.0	0.0	－
（参考）前期連結実績 （令和5年9月期）	3,004	0	67	△195	△38.40

（注）1株当たり連結当期純利益につきましては、第2四半期連結会計期間における自己株式取得に伴う期中平均株式数の変動を反映しております。

5. 通期業績予想の修正の理由

第2四半期連結累計期間の実績に加え、直近の受注状況や第3四半期連結会計期間以降の施策の実施見通し等を考慮し、連結営業利益の予想を修正いたします。連結経常利益につきましては、第2四半期連結累計期間における営業外収益の状況等も踏まえ、据え置きといたします。また、令和5年9月14日に発表いたしました「連結子会社の解散及び清算並びに特別利益の計上に関するお知らせ」に記載のとおり子会社清算益を計上する見込であること等も踏まえ、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても据え置きといたします。

（注）業績予想につきましては、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上